

Curriculum カリキュラム

本校では、保育現場での豊かで深い経験を持つ講師陣によるカリキュラムに加え、学生の自主性を尊重した指導を行い、2年間という短い期間を最大限に活用し、豊かな教養・専門知識・専門技術を確実に修得した、幼児教育・保育のプロフェッショナルを養成しています。

2年間の流れ



PICK UP授業



子どもの理解と援助

保育を実践する上で基礎となる、子ども理解の意義とその方法について学びます。一人ひとりの心身の発達状況を読み取り、さまざまな演習を通じて保育を構想する力を身につけます。

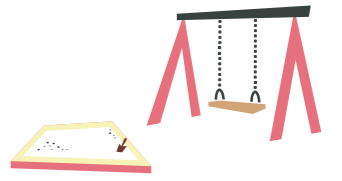


音楽表現

ピアノを使った弾き歌いや手遊び、遊び歌など、幼児期の音楽表現活動を支援するためのさまざまな知識・技術・表現力を身につけます。

夢に繋がる5つの免許・資格

所定の科目を履修することで、卒業時に「幼稚園教諭2種免許」と「保育士資格」の両方を取得できます。



卒業と同時に全員が取得できる2つの資格

● 幼稚園教諭2種免許(国家資格)

指定教員養成機関として文部科学省から指定を受けています

国公立・私立幼稚園の先生になるために必須の免許で、3歳から小学校入学までの子どもたちを対象に保育・教育を行います。就学前の子どもは短時間で大きな成長を遂げますので、教諭はクラス単位の全体的な指導だけでなく一人ひとりの子どもに合わせ、個性を理解した幅の広い指導が求められます。

● 保育士資格(国家資格)

指定保育士養成施設として厚生労働省から指定を受けています

保育士は法律上、児童福祉施設において児童の保育に従事する者と規定されており、0歳から18歳までを対象に、発達段階に応じて適切な援助・指導を行います。乳児の身の回りの世話、遊び、体調管理や、幼児には音楽、造形、運動、自由な遊びを通して、心身の健全な成長・発達をサポートします。

選択制により卒業と同時に取得できるその他の資格

- 救急・蘇生法適任証(日本医学協会)
- レクリエーション・インストラクター(日本レクリエーション協会)
- 乳幼児健康体育指導士(日本幼児健康体育協会)

幼稚園教諭2種免許・保育士資格以外にも、資格取得に必要な選択科目を履修することにより、幼稚園・保育所での仕事に役立つ資格が取得できます。

独自のテキストを使用



「たのしく弾くピアノ教本」

初心者の学生が2年間でピアノを弾けるよう、独自の教本を作成。全曲歌詞の付いた曲を選び、保育の現場に直結した曲目を習得することで、大きな成果をあげることができています。



「すてきな保育者をめざして」

多くの著者の協力のもと、保育者を目指す方々が第一歩を踏み出すときの大きな支えになる教科書を作成、全編カラー写真、イラストなどにより親しみながら必要な知識を身につけられる本になっています。

実習スケジュールと目標

実習担当(係)が実習協力園の中からリサーチして、学生に適した園に配属します。就職との関連で学生自身が見つけて実習を行なう場合もあります。事前指導、事後指導が授業の中に組み込まれているので、安心して実習に臨めるよう配慮しています。

1 体験学習

1年生6月・1週間

まずは保育の現場を体験

子ども同士の関わりや保育士の動きを観察し、今後の実習課題をみつけます。

2 教育実習(幼稚園)

1年生11月・2週間

初めての实習で、将来への決意を再確認しよう

幼稚園でどんな仕事をするのかを学びます。子どもとの接し方に慣れ、子ども同士の関わりを観察。幼稚園教諭の補助的役割を経験しながら学ぶべきことの認識を深めます。

3 保育実習(保育所)

1年生2月・2週間

今自分が学ぶべきことを、実習の場で知ろう

保育所(園)でどんな仕事をするのか目で見て学びます。子どもに接して気持ちを理解し、仕事の厳しさややりがいを実感します。保育士を目指す原点を自覚します。

4 教育実習(幼稚園)

2年生6月・2週間

子どもたちと触れ合いながら、実践力を高めていく

幼稚園で実際に子どもたちの指導にあたり、より実践的な力を磨きます。全体をとらえ指導する役割を体験。事前の準備や勉強の重要性を知る機会でもあります。

5 保育実習(施設)

2年生夏期・2週間

様々な援助技術を体得し、人間への理解を深める

児童福祉施設で子どもたちと生活をともにし、適切な援助の仕方を学びます。状況や人の行動等に即して対応することで、理解がより深まり自己啓発の機会にもなります。

6 保育実習(保育所または施設)

2年生11月・2週間

実習の総仕上げ、将来への自覚と責任を身に付けよう

保育所または児童福祉施設を各自で選択、総仕上げとして成果を試す最後の実習です。具体的な計画を立て、子ども一人ひとりの動きを考えながら総合的な指導を経験し、保育者としての責任感がわいてきます。